

建築科3年実習 鉄筋組立の実技指導

建築科3年では鉄筋の組立をする実習があります。授業では鉄筋の基礎知識について学んでいますが、実際に鉄筋に触れる機会は少ないです。そこで、鉄筋施工現場で経験豊富なものづくりマイスターに鉄筋の組立作業に関する基本技能の指導を各班にいただきました。鉄筋を針金で結束するときを使う道具(ハッカー)の使い方や柱・基礎梁の配筋手順、仕上げ方法など分かりやすく丁寧に指導してもらい、鉄筋施工の内容を理解しながら真剣に取り組んでいました。

多くの生徒は将来仕事としてビルやマンションなどの鉄筋コンクリートの建造物に関わりますが、その骨組みとなる鉄筋施工の仕事をしておられるプロの卓越した技能に触れ、現場の雰囲気を感じながら共同作業で組立てる大切さなどを学ぶことができました。また、現場に欠かせない安全教育についても具体的に指導していただき、実践的な実習ができました。



マイスターによる鉄筋組立の実演



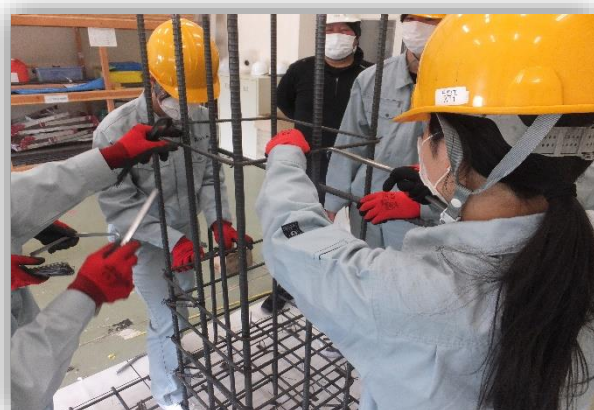
ハッカーの使い方の説明



鉄筋の結束練習の様子



ベース筋の組立の様子



柱・基礎梁の組立の様子